

京都市会だより

第45号

平成20年(2008年)
5月15日発行

発行/京都市会
編集/市会事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
TEL.075(222)3697
FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



蹴上浄水場のツツジ

総額1兆6千656億円の
平成20年度当初予算を可決

2月市会定例会

2月定例会は、2月29日から3月25日までの26日間開かれ、市長提出議案72件、議員提出議案13件を審議しました。

市長提出議案のうち、20年度一般会計予算など予算案23件とその関連議案16件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。19年度一般会計補正予算など予算案12件とその関連議案3件についても、予算特別委員会、また、後期高齢者医療に関する条例の制定など議案14件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、副市長(細見 吉郎)の選任など議案4件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、職員不祥事に関する調査特別委員会の設置や政務調査費の交付に関する条例の一部改正など12件の議案を、原案のとおり可決しました。

なお、2月29日の本会議において、さきの市長選挙で当選した門川市長の就任のあいさつが行われました。

2月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

〔市長提出議案〕

平成20年度一般会計予算など23会計予算
20年度当初予算は、市長選挙が20年2月に執行されたことから、緊急を要する一部の事業を除いて、人件費など任意に削減できない義務的経費や継続的な事業経費を中心とする、いわゆる骨格予算として編成されました。

職員不祥事に関する調査特別委員会を設置

〔議員提出議案〕

職員不祥事に関する調査特別委員会の設置
市民の信頼回復と服務規律に関する調査特別委員会の調査後においても、職員の服装・休暇の不正取得や職場離脱による服務規律違反が新たに発生したことから、不祥事根絶に向けた職員の意識改革の徹底と職場風土の刷新に関して集中的に審査するため、特別委員会を設置するものです。

平成20年度当初予算額(会計別)

会計別	20年度当初予算額	19年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	6,595億3,500万円	6,908億5,000万円	313億1,500万円	4.5
特別会計	6,788億2,900万円	7,477億4,300万円	689億1,400万円	9.2
小計	1兆3,383億6,400万円	1兆4,385億9,300万円	1,002億2,900万円	7.0
公営企業会計	3,271億8,700万円	3,107億2,000万円	164億8,500万円	5.3
病院事業	177億円	165億1,900万円	11億8,100万円	7.1
水道事業	606億5,800万円	577億5,000万円	29億5,300万円	5.1
公共下水道事業	1,354億6,600万円	1,148億3,500万円	206億3,100万円	18.0
自動車運送事業	280億1,700万円	286億3,000万円	6億1,300万円	2.1
高速鉄道事業	853億4,600万円	930億1,300万円	76億6,700万円	8.2
合計	1兆6,655億5,100万円	1兆7,492億9,500万円	837億4,400万円	4.8

そのため、一般会計の20年度当初予算の規模は6千595億3千5百万円で、前年度当初予算に比べ、4.5%減となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計でも、1兆6千655億5千1百万円で、前年度当初予算に比べ、4.8%減となりました。予算の概要は右表のとおりです。

政務調査費の交付に関する条例の一部改正

議員や会派の調査研究に資するため交付される政務調査費について、これまで、1件5万円以上の支出(人件費等を除く)を対象に義務付けていた領収書等の証拠書類の提出を、すべての支出を対象とするなど、その用途の更なる透明化を図るものです。